

昭和大学

平成 29 年度 再評価
評価報告書

平成 30 年 3 月

公益財団法人 日本高等教育評価機構

昭和大学

I 再評価結果

【判定】

再評価の結果、昭和大学は、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合していると認定する。

II 総評

平成 27(2015)年度の認証評価において、基準項目 2-8「教員の配置・職能開発等」については、大学設置基準で定める必要専任教授数を満たしていないことから、適切な教学管理が行われているとはいえ、抜本的な改善が必要であり、基準項目を満たしていないとし、基準 2「学修と教授」を満たしていないとした。

しかしながら、この基準を満たしていないと判断した要因となる事項については 1 年以内に改善が可能であると判断したので、再評価の結果を待って最終的に判定することとし、大学の総合的な判断を保留とした。

平成 29(2017)年度に基準 2 の基準項目 2-8 について、平成 27(2015)年度の認証評価時に指摘した改善事項の内容を中心に再評価を行った結果、大学は、指摘した内容を真摯に受止め、指摘事項については改善されたことが確認できた。今後も継続的に自己点検・評価を行い、質の保証と改善に努めることを期待する。

III 基準ごとの評価

基準 2. 学修と教授

【評価結果】

基準 2 を満たしている。基準項目ごとの評価結果と理由については、以下に述べる。

2-8 教員の配置・職能開発等

2-8-① 教育目的及び教育課程に即した教員の確保と配置

2-8-② 教員の採用・昇任等、教員評価、研修、FD(Faculty Development)をはじめとする教員の資質・能力向上への取組み

2-8-③ 教養教育実施のための体制の整備

【評価結果】

基準項目 2-8 を満たしている。

【理由】

教員の採用には任期制を取入れ、再任の際には専門委員会で教員評価を行うなど、質の

高い教育が可能となる体制が整えられている。

FD 活動については教育推進室が中心となり推進されている。学部・学科に特化した内容のアドバンスワークショップが開催されており、教員の能力向上を図っている。授業アンケートは教員、授業科目ごとに行われ、授業の改善が図られている。

教養教育は、主として初年次に富士吉田教育部において行われており、教授会や教育委員会、教育推進室等を設置し、富士吉田教育部長のリーダーシップのもと、組織的に教養教育が行われている。

保健医療学部理学療法学科と作業療法学科の専任教授数は、平成 27(2015)年度の認証評価時に大学設置基準で定められた必要教授数を下回っていることが確認されたが、その後、理学療法学科に教授二人、作業療法学科に教授一人が採用され、改善されたことが確認できた。

